

刊行物広報事業（広報誌「NEWSふくい」の制作・配布事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	総務部	課名	知事公室広報広聴課	課長名	宮崎 俊宏	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力) 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]]				関連する県の計画等							
[解決すべき問題・課題]												
若い世代を含む幅広い世代が県政情報を容易に入手できるよう、身近で多様な手段を提供する必要がある。												
[事業目的]												
広報誌「NEWSふくい」を発行し、県政情報を県民にわかりやすく伝え、県政への理解促進を図る。												
[事業内容]												
○広報誌「NEWSふくい」の制作・配布												
発行回数：年12回 発行部数：25万部 仕様：A4判・8ページ・フルカラー 配布方法：新聞折込、各施設等への配布 読者層の拡大を図るため、デジタルブックにより配信												
[受益者] —						[想定される受益者数] —						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 広報誌デジタルブック事業 (役割分担) 広報誌「NEWSふくい」のデジタルブック版					
市町との連携状況	・各市町の役場や、公共施設などでの配置 ・県広報誌に市町の催事情報を掲載 ・市町の広報誌担当課に、県政情報を随時提供（県行催事、知事記者会見の発表事項、新型コロナウイルス関連情報等）					他県の状況	本県を含め47都道府県すべてで広報誌を制作					

刊行物広報事業（広報誌「NEWSふくい」の制作・配布事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	総務部	課名	知事公室広報広聴課	課長名	宮崎 俊宏	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		R3 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			H24 年度 経過年数 10 年
補助率	-								□ その他			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	71,506				71,506							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		76,010	76,010	76,724	79,452	71,506	発行部数を3万部削減					
2月現計予算額の推移		75,480	75,448	76,393	79,090							
決算額の推移		75,448	75,448	76,393								
前年度までの 主な増減理由	令和元年度は、消費税増税に伴い、増加した。 令和2年度は、原材料等の高騰に伴い、増加した。											
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	読者アンケートの「大変良い」「良い」の割合 (目標) 実績	(80.0%) 85.4%	(80.0%) 85.5%	(80.0%) 84.1%	(80.0%) 82.0%	(80.0%)	(80.0%)	(80.0%)	より県民に親しまれる広報誌を目指す。			
活動指標	発行部数 (目標) 実績	280,000 280,000	280,000 280,000	280,000 280,000	280,000 280,000	250,000	250,000	250,000	より大勢の県民に県政情報を届ける。			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス関連情報を毎号掲載し、感染防止対策と経済再生に向けた事業などの役立つ情報を提供した。 写真のスペースを増やし、より目を惹くデザインレイアウトに変更した。				広報誌「NEWSふくい」のデジタル化により、発行部数および頁数を見直す。 毎号実施している読者アンケートも参考に、県民にとって身近で役立つ情報を提供できる広報誌を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 7,946	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

広聴事務費（現場でトーク開催事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	総務部	課名	知事公室広報広聴課	課長名	宮崎 俊宏			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	— 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題]														
新型コロナウイルス感染拡大により、対面でのコミュニケーションが減る中、オンラインなど新しい意見交換形式を活用して、県民の声を聴く機会を増やす必要がある。														
[事業目的]														
徹底現場主義に基づき、知事が地域の実情や課題を把握し、県民主役の県政を進める。														
[事業内容]														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知事が現場に出向き、視察や関係者との意見交換を行う。 ・ WEB環境が整っていない県民に対し、オンラインによる「現場でトーク」の実施に必要な通信機器の貸し出しなどを行う。 														
[受益者] —						[想定される受益者数] —								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	意見交換の訪問先等について市町と調整					他県の状況	全都道府県において広聴事業を実施							

広聴事務費（現場でトーク開催事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	総務部	課名	知事公室広報広聴課	課長名	宮崎 俊宏			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	— 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	250				250									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			1,108	1,108	250	令和元年度および令和2年度の実績を踏まえ見直した。								
2月現計予算額の推移			723	250										
決算額の推移			113											
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	視察・意見交換回数 (目標)		-	-				知事の現場でトーク						
	実績		195	107										
活動指標	実施方法 (目標)		-	-				地域訪問、行事活用						
	実績		2	2										
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
知事の「現場でトーク」 107回（視察・意見交換回数）			令和元年度および令和2年度の実績（見込み）により、必要経費を見直し。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、WEBを活用した「現場でトーク」を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 858				
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					